

## 令和3年度 経営発達支援計画 事業実績報告（概要）

当所は、令和2年度から5年間の計画に基づき小規模事業者が持続的に事業を発展させるために需要の動向や自らの強み等を分析し、新たな需要を獲得するために商工会議所がこれまで行ってきた経営改善普及事業に、小規模事業者の経営の発達に資する支援を実施した。

令和3年度は、小樽市経済動向調査や市内空き店舗調査を実施したほか小規模事業者の実態調査を実施し経営状況を分析した。

さらに、伴走型補助金を活用して事業承継・創業者の掘り起こしとしてセミナーの開催とFMおたるでのスポットCMによる啓発事業や会報へのチラシ折込みによる周知活動を展開し、個別相談による支援に繋がったほか経営指導員等研修会への参加を通じて職員の資質向上を図った。

また、販路開拓支援事業として「知産志食しりべし」ソウルフードチャレンジの開催を計画し、商品改良・磨き上げ通じた情報発信によるPR相乗効果を目指したものの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。

### 事業実績の主な概要

1. 事業承継・創業者の掘り起こし事業（伴走型補助金）
  - ①事業承継&創業セミナー・個別相談会の開催（小樽市と共催）
  - ②当所会報やメディア等を活用した周知
2. しりべしソウルフードチャレンジの開催（伴走型補助金） ※中止
  - ①事業計画策定
  - ②フォローアップ
3. 創業支援サポート連携事業連絡会議の開催 ※中止
4. 事業承継窓口相談事業連絡会議の開催 ※中止
5. 経営指導員等研修会への参加（伴走型補助金）
6. 評価委員会の開催（5月26日、3月24日）

### 事業の成果・評価・見直しについて委員からの主な意見

- ・事業承継&創業セミナーの成果として、参加者から事業承継の問合せが小樽市にあった。
- ・販路開拓支援に係る情報発信事業のIT活用について、活用方法がわからない事業者が多く、情報発信方法をまず知ってもらうことが重要で、SNSの活用方法を理解するセミナーなどの支援が必要である。

- ・セミナーの開催は、啓発活動に繋がり、今後も継続していただきたい。また、経営課題の解決など事業力強化に資する事業者向けのセミナーの開催をお願いしたい。
- ・事業承継に関する相談窓口は、小樽市内の各団体が設置しているが、他の団体の対応方法は把握していない。また、相談窓口が多く、どこに相談したらよいのか事業者に分かりづらい状況であることから、協議会を設置し、窓口を一本化することが利用者増加のために必要ではないか。
- ・小樽市内で開催される「食のイベント」も各団体が単発で開催している印象があるが、各団体が連携して開催をする協力体制の構築が必要ではないか。
- ・創業希望者に「創業前に困っていること」を伺うと、「資金繰り」と回答する方が多いが、創業後にフォローアップを兼ねて経営状況のヒアリングを行うと、「経営ノウハウがない」と回答する事業者が多くいる。創業前に販路開拓の方法や経営課題の解決など経営知識の習得は重要な点であり、創業希望者の最初の窓口は、事業計画書等作成の経営支援を行う商工会議所が良いと考える。